

# 豆腐ドーナツ味わって

## 中村 障害者ら働くカフェ評判



障害者らが豆腐を使った手作りメニューを出す中村区砂田町2の「ひょうたんカフェ」が近所の評判を呼んでいる。織物や豆腐の販売で障害者の自立を支援している同じ名前のNPO法人が運営。カフェ開店は職員や通所者にとって長年の願いで、「地域の人とつながる場にしたい」と張り切っている。(鈴木龍司)

NPO法人「ひょうたんカフェ」は二〇〇六年に同所に設立され、障害がある人たちの雇用を創り出すための「さをり織り」や豆腐を作って、販売。作業所では約三十人が働いている。カフェは九月開店。オープンテラスの四席を含め、十人座れば満員のこぢんまりした空間。これまで豆腐を売っていた場所の脇に設



手作りのドーナツなどを販売する男性スタッフ＝中村区砂田町2で

仕込みや接客は知的障害がある二十代の男性スタッフ四人が中心に担当。客が来たら必ず「いらっしゃいませ」と言い、常に身だしなみをきれいにしよう心掛けています。その一人、名真詠心さん(二巴)は「ドーナツが全部売れると、とてもう

れしい」と話す。

NPO法人の代表理事橋本思織さん(四六)は、こうしたスタッフの様子を見て、「地域の人と接する機会が増え、自分で役割を探するなど積極的な姿勢が芽生えてきた」と喜ぶ。手作りにこだわり、家庭的な雰囲気のカフェの評判は口コミで広

がっている。ドーナツは持ち帰りも含め、作った百個が売り切れることも。今後はミニコンサートや福祉関係のワークショップも開いて、地域の交流拠点にするのが目標。橋本さんは「障害の有無に関係なく、集まった人が自分のペースで自由な時間を過ごせる温かい場に育てたい」と話す。カフェは地下鉄中村公園駅近く。営業は午前八時半～午後五時。日曜、祝日は定休日。問い合わせは、ひょうたんカフェ＝電(485)4535へ。